

2024年度愛知県健康づくり推進協議会議事要約

【日時】2025年2月4日（木）午後2時30分から午後4時まで

【会場】愛知県庁本庁舎6階 正庁

【出席委員】15名

【欠席委員】6名

【事務局】13名

【傍聴者】0名

【内容】

- 1 挨拶（愛知県保健医療局長 長谷川）
- 2024年3月に、今後の健康づくり施策の進むべき方向性を示す「第3期健康日本21あいち計画」、また、疾患分野ごとの個別計画である「第4期愛知県がん対策推進計画」と「第2期愛知県歯科口腔保健基本計画」の3つの計画を策定したところである。今後とも、各計画の実現に向けて緊密な連携を図り、共に進んでまいりたい。
- 本日は、「健康長寿あいちの実現」のため、3つの計画の進捗状況をご報告するとともに、今後の推進方策を御協議いただきたい。
- それぞれのお立場から、忌憚のない御意見、御提言を賜りますようお願いする。

2 議題

(1) 健康づくりに係る3計画の2024年度の主な取組等について

ア「第3期健康日本21あいち計画」の策定について

- 健康増進部会の中で、眼に関する項目について何か意見は出たか。資料1-2の主な意見の中でデスクワークや女性の健康の骨粗鬆症を含め、様々議論されていると思うが、ここ10年で労働環境も変わってタブレットの使用やリモートワークが増え、眼の負荷が大きくなっている。小学生以上の子どもたちがタブレット端末を持っている現状もあり、眼に関する取組を進めていくべきと思う。白内障は日帰り手術が出来るなど医療の発達もあり対策が進んでいるが、緑内障は重要なテーマとして対策していくべきである。国の健康日本21の方針に準じた計画であると思うが、スポット的な眼に関する啓発など、出来る取組はあるか。

→（健康増進部会長）

眼に関する御意見はなかった。緑内障の患者さんは例えば眼をよく使う設計技師などに多い。それから緑内障以外にも加齢性黄斑変性という失明につながる病気もある。眼科医から聞く話では、過剰な光と職歴等に関係があると言われている。他の臓器もそうだが、過剰な負荷がかかることが疾患の発症原因となる。子どもの頃から早期に習慣を身に付けることが予防につながると考える。今後の健康増進部会の中で検討していきたい。

- 緑内障は症状に気が付きにくい。緑内障自体の周知も進んでいないと感じる。症状の周知、早期発見などを含めて啓発していただきたい。

→（健康増進部会長）

健診では眼底写真があるが、担当医の主観に左右されたりすることもある。網膜の断層写真を撮る光干渉断層計検査では、網膜が薄くなっているのが分かるため、緑内障の中でも

患者が多い正常眼圧緑内障がわかるような医療機器が出てきている。折に触れて啓発していきたい。

- 正常眼圧緑内障は、自覚症状として気付いたときには遅いことも多い。眼科医会でも40歳になったら眼科健診を受けましょうとCMもあったかと思う。眼科医会と連携した取組も重要である。

- 資料1-1の1ページ目、基本方針(Ⅱ)の、疾病の発症予防及び重症化予防として、こちらには2ページの一番下の丸、循環器病がある。7ページを見ると虚血性心疾患に関することがテーマとされているが、今後は心不全がかなり増えるだろうと言われているので、虚血性心疾患だけではなく心不全を取り入れられるとよいのではないか。

→ (健康増進部会長)

心筋梗塞の発症率は実はあまり変わっておらず、なかなか発症の予防が出来ていない。死亡率は大幅に下がっており、全国の循環器内科の統計を見ると入院された方の9%ぐらいの死亡率でかなり低い状況で、これは医療技術の進歩で改善しただけであるため、まずは虚血性心疾患を予防することが大事である。高齢化の中、虚血性心疾患をなんとか治療でぐり抜けて存命し長生きすると、どうしても老化で心不全を何回も起こす。最近のデータでは、心筋梗塞による入院よりも心不全による入院の方が多く、心不全は非常に大きな問題と思っている。今後も健康増進部会の中でも取り上げていきたい。

- 食育推進協力店に関して、こちらは県の保健所管内の飲食店が対象になっているということではよいか。また、登録方法については、紙を県保健所へ持っていく方法と理解してよいか。

→ (事務局)

飲食店の登録に関しては、まずは県保健所管内の飲食店で考えているが、また名古屋市や中核市とは情報交換していきたい。申請についても紙ばかりでなく電子申請もあればという御意見も伺っているので、そのあたりも今後整理をしていけたらと思う。

- 資料1-1で感じたことですが、ライフコースアプローチは非常に大事ですが、世代的な連続性が弱い印象を持った。例えば、肥満があって食事指導しても行動変容を起こしてくださる方は少ない。そこで、ライフコースインターベンションの考え方で、人生の中でどのようなリスクがあるかを啓発することが大事だと思う。その点を全体の構成の中で見やすくして、実際に県民の方が理解しやすくなるとよい。基本方針Ⅰの質問項目が「健康的な生活習慣を送っている者の割合」となっているが、これではわかりにくいと思う。

→ (事務局)

ライフコースアプローチについては、わかりにくいという御意見もいただいていた中で、今回計画としてどのように指標を立てて記載するか悩んだところであり、完成品にはなっていないと思う。今後いただいた意見を参考に検討していきたい。

- 長寿の秘訣というのがわかると大変助かる。ライフコースアプローチをする上で、例えば県職員の健診データをみるとだいたい40歳前ぐらいに肥満が多く、脂質異常が続き、50

歳ぐらいから高血圧、60歳前に糖尿病の方が出てくる。このように生活習慣病が蓄積すると60歳頃にどんどん症状が出てくる。それを予防するためには小児、学校からの啓蒙が大事で重点的に考えている。どんな生活習慣がいいのかを定義することはなかなか大変な話でもある。長生きされた方の食習慣とか生活習慣は参考になると思うので、老年科の先生でいろいろ調査をされていると思うが、もし何か長寿につながるような生活習慣を教えてください、どういうことを実践するとよいか分かり、教育にフィードバックができるかと思う。

→ (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター)

国立長寿で出来ることがあれば協力したいので、また御指示いただきたい。

イ「第4期愛知県がん対策推進計画」の推進について

○ (特に意見なし)

ウ「第2期愛知県歯科口腔保健基本計画」の推進について

○ 資料3-2の「へき地の歯科医療資源が多くないため～」の記載について。昭和59年から令和元年まで無歯科医地区というのは減少傾向になった。愛知県における無歯科医地区の数は、令和元年度には19だったのが令和4年度には22と増えている。この背景には、歯科診療所はコンビニより多いと言われた時期もあったが、2016年をピークに歯科診療所数は減少傾向である。2022年度においては、2020年度に比べて2,176名の歯科医師が減少している。また、歯科医師の平均年齢は53歳。高齢化、歯科医師の減少が起きている。さらに、歯科医師の偏在も出てきているため、今後これらに対し早期に対応を進めていただきたいと思う。嶋崎先生は愛知学院歯学部教授ということで、要望したい。訪問診療、在宅診療、巡回歯科診療を学生教育に取り入れるなど、しっかり学生の段階から協力していただくと人材育成にも役立つと思う。

→ (歯科口腔保健対策部会長)

本学では、数年前から高齢者・在宅歯科医療学講座が訪問診療に関する教育を行っており、訪問医療を進めていくことの重要性は大学でも認識をしている。なかなか現場を見るような教育を進めることは難しいが、そういった教育に取り組んでいけるように検討していけるとよい。

○ 基本方針Ⅱの歯科疾患の予防、高齢期では、オーラルフレイル、嚥下困難など、在宅における医歯薬連携での啓発もできる。糖尿病や心疾患等でたくさんの薬を飲んでいる方が多く、歯周病を治療することで、それらの疾患の重症化を予防できるとも言われている。歯科医師会の委託事業等で、糖尿病の連携事業もすでにされている。歯科口腔保健対策部会の構成員として薬剤師会が入ることを是非検討していただきたい。禁煙に関しても、歯周病と非常に密接な関係があるので、健康サポート薬局などでも出来ることがあれば取り組みたい。

→ (事務局)

構成員に関しては、今いただいた御意見を元に、また検討させていただきたいと思う。

- 保険者としても、歯科では特に就労期に歯科健診そのものを受けずに抜けてしまっていることもある。重症化するまではなかなか歯科健診を受けない傾向もあるため、今現在、愛知県歯科医師会と東海4県も含めて統一の歯科健診に取り組み始めている。資料3-3の4ページ11番に厚生労働省から受託事業で歯科疾患実態調査とあるが、県内10地区で行っている歯科保健状況、医療の推進に関する資料とはどんな内容なのか、どこで見れば過去のデータあるいは今後2028年にはどんなことを調査されるかがわかるかを教えていただきたい。
- (事務局)
国の調査のため、結果は厚生労働省のホームページに掲載される。今年実施した調査結果の公表は、おそらく来年度になると思う。調査内容は、歯の本数、8020の達成者の割合など歯科疾患に関する基本的な情報である。過去の結果も厚生労働省のホームページに掲載されているので、そちらを参考にいただければと思う。
- 厚生労働省のホームページは多岐にわたっていて、どこに何があるか探すのにもそれだけで大変である。出来ればなんらかの形でまとまったものを簡単に報告いただければありがたい。
- 特に歯周病と糖尿病の関連では、医科歯科連携は非常に重要である。